

秋保大滝植物園だより No.19 秋の木(草)の実号

園内の四季折々の花や色とりどりの実、季節を告げる生きものなどの自然の情報を季節をおってお届けします。今回は秋に見られる木(草)の実です。尚、バックナンバーは(公財)仙台市公園緑地協会ホームページ「杜のひろば」よりダウンロードできます。



コマユミ[小真弓] 実：9月下～11月
枝に沢山の翼があるのがニシキギで、翼のないものをコマユミという。



ネムノキ[合歓の木] 実：9～11月
長さ12cmほどの扁平なさや状の実をつける。種子も扁平。



ヤイトバナ[炎花] (ヘクソカズラ) 実：9～11月。熟すと黄褐色になり、冬になっても残る。サオトメバナ(早乙女花)という別名もある。



アメリカヤマゴボウ[亜米利加山牛蒡] (ヨウシュヤマゴボウ) 実：8～11月。外来種。全草に毒があるので注意。



ミズキ[水木] 実：9月～10月
紅い枝と黒色の艶のある実のコントラストが美しい。ミズキの葉は互生、クマノミズキの葉は対生する。



ヤブコウジ[藪柑子] 実：10月～翌年
常緑の小低木。冬の間も赤い実が残る。地下茎を伸ばして増える。



ヤブミョウガ[藪茗荷] 実：10～11月
ミョウガではなくツクサの仲間なので食用不可。実は濃い青紫色に熟する。



ナンテン[南天] 実：11月～
暖地の樹木なので、園内での生育はよくないが、その年の気候によって沢山実をつけることもある。



ノブドウ[野葡萄] 実：9月下～11月
食不向きなので、イヌブドウ・ウマブドウなどの呼び名もある。美しい色も採取するとあせてしまう。



シラタマコシキビ[白玉小式部] (シロミノコムラサキ) 実：10～11月
小さな球形の白い果実が秋の風景によく似合う。



ベニシタン[紅紫檀] 実：10～11月 (コトネアスター)
常緑低木。葉も実も小さいので盆栽に向いている。



ボタンズル[牡丹蔓] 実：9月～11月 茎は木質。種子には白い髭のような毛がつく。



アオツブラフジ[青葛藤] 実：10月～12月 蔓植物の小道にある。雌雄異株。花は小さくて目立たない。有毒植物。



マムシグサ[蝮草] 実：9～11月
トウモロコシのような実は、秋になると従い赤く色づき、晩秋には真っ赤に熟す。コンニャクの仲間だが有毒。



イチイ[一位] (オンコ・アララギ) 実：9月下～11月 赤い果肉は甘くて美味しいが、中の種子は有毒。生垣に利用されるが野生では大木になる。



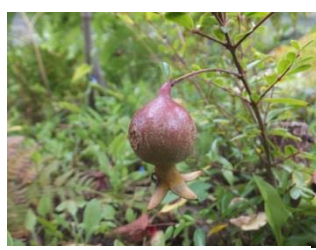
ミツバウツギ[三葉空木] 実：7～10月 ハート型をした翼のある実が可愛い。若い実をブチブチの代用にし、つぶして遊んだ。



コケモモ[苔桃] 実：8～10月
ツツジ科の常緑小低木。小さな高山区にある。実は小さいが赤く熟すと食べられる。



ヒサカキ[桧] 実：9月下～11月
花は異臭がある。現在は榊(さかき)の代用として出回っている。



ヒメザクロ[姫石榴] 実：9月～10月
花も果実も小さく樹高も1m前後と大きくならない。実は食不向き



トチバナンジン[栞葉人參] 実：7月～10月上 赤い実はサルトリイバラにも似ていて愛らしい。実の頭部が黒くなるものをソウシショウニンジンという。